

そ

れ

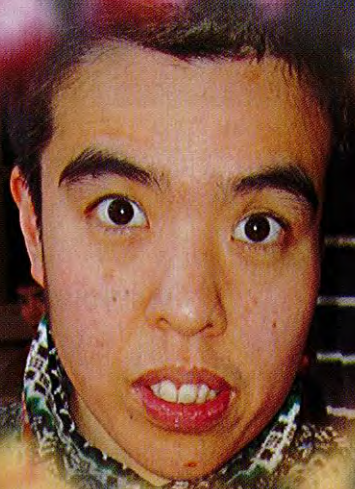
い

け

!!



ピクシープレイス



ピクシーフォレスト



永幸苑

翠島亭

すいこうかい

平成25年度 スローガン

「継続の確認」



常務理事施設長

川崎 鉄男

障害者総合支援法施行

いよいよ4月より新しい法律が施行されます。この10年で障害福祉は、大きく4回法律改正があり、介護保険との統合破綻、負担金、施設新体系移行と我々職員も利用者障害者の皆様、利用者保護者・ご家族にとってもヒステリックな10年であったと思います。

しかし流れは、間違いなく障害者利用者本位に少しづつでありますが進んでいます。

今後「新障害者基本計画」「障害者差別法」と法律が国会に提出され、最終的に国連の「障害者権利条約」が批推される予定です。

4月から法律が変わりますが、利用者にとっては大きく利用・負担金等変わることはありません。また難病130疾患が障害者福祉利用可能になること、平成26年4月からケアホーム・グループホームが一本化になり、グループホームに名称が統一されます。

本来であれば皆様に説明会を開催するところですが、不明な点は職員にお尋ねください。

さて最近の法人の動向についてですが、昨年12月に行われた衆議院選挙で千葉県一区で立候補した、当法人理事及び顧問弁護士門山宏哲氏が見事当選されました。お祝いすると共に今後福祉だけでなくTPPに影響がある可能性がある医療についても一緒に考えていけると思います。

次に防災・減災についてですが、一昨年東日本大震災における復旧・復興工事・自家発電工事等については、国県ご協力により全て完了致しまし

た。平成24年度で国県より永幸苑が「モデル福祉避難所」の指定を受け「防災倉庫」増設が完了し、非常食3日分から一週間以上、利用者・被災障害者30名、職員分として、防災備品を準備しました。

また平成25年度中に地元四街道市と「福祉避難所」として正式に文書を終結し、市との連絡・各避難所・市内社会福祉施設との連携のために「防災無線機」が設置され、市役所「危機管理課」との無線試験も終了運用開始となります。市障害福祉課はじめ先駆的な考えで実行して頂く市長に対し深く感謝致します。

今後法人は、地元市貢献の為にも、知的障害者中心のピクシーフォレストに「福祉避難所」として活用できる、通所用の生活介護の基本設計に入りました。

施設入所支援に関して今後も重要視されることを信じてますが、利用者がサービスを選択して行くなかで、グループホーム建設は不可欠と考え、市内2カ所と温暖な地南房総最南端館山市平砂浦に1カ所建設する方向で国県各市と調整していきます。施設は定員減を図り、QOL向上と最重度障害者の最後の砦として頑張っていきます。(想定は、程度区分オール6)

皆様の応援・ご協力・ご支援を今後もよろしくお願い致します。



想いやり

施設長

長岡 英保

平素より社会福祉法人翠昂会 障害者支援施設ピクシーフォレストに対し、ご利用者を初めご家族、関係諸団体、地域の皆様方など多くの方々より温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼と感謝を申し上げます。

平成25年度を迎えるにあたり、あるエピソードをご紹介させていただきます。高校3年生のA子ちゃんは生まれた直後の小児麻痺が原因で足が不自由のため歩くにもドタンドタンと音を立てて歩いていました。そのA子ちゃんが通う高校では夏に全校クラス対抗の水泳大会があり生徒の自主性を尊重し、生徒だけで全ての企画から運営まで行っていました。当然、選手の選考も生徒だけで自由に行い、それは学校の校風にもなっていました。

そんなある日、A子ちゃんのクラスでは水泳大会の選手を決めることになり、クラス全員が放課後残ってホームルームを始めました。男子2人、女子1人はすぐに決まりましたが、残りの女子1人がなかなか決まりません。ついに早く帰ろうとしていたクラスの中で1番のいじめっ子がしびれを切らして言いました。「A子はこの3年間水泳大会はもちろん体育祭にもでてないじゃろうが。クラスのためになにもしてないじゃけん、最後ぐらいA子がでたらええわあ。」A子ちゃんはそんな意地悪な発言にびっくりしました。でも、「誰かが味方して替わりの選手を選んでくれる。」そう思って、じっと待っていましたが、誰も何も言ってはくれません。女子は自分が言えばきっと自分に降りかかるだろうと思い又、男子はそのいじめっ子のグループからいじめを受けるのが怖くて何も言えないのでした。

結局、誰も味方をしてくれず、A子ちゃんは選手に選ばれてしまいました。「なんてことだろう。私が泳げるわけじゃないじゃない。何でみんな私のことを味方してくれないの？」A子ちゃんは心の中で何度も何度もつぶやきました。そして家に帰り、お母さんに泣きながら相談しました。しかしいつもは優しいお母さんがこの日ばかりは違いました。お母さんはA子ちゃんに言いました。「A子おまえは高校を卒業したら大学に行かんで就職する言うておうたよねえ。会社に行きだして上司の人からおまえには出来んことを頼まれたら、母さんはいつもおまえの代わりに「うちの子にこんな仕事させんで下さい。」言うて頼みに行かにかいけん？」お母さんはお腹の底から絞りだす

ような声でA子ちゃんに言いました。「たまには、「ええよ、そこまで言うんじゃったら、私が泳いであげるわあ。その代わりに、私らのクラスは今年ビリになるけんね。」くらい、言い返してやりんさいよ。」お母さんの顔は怒りで紅潮していました。

A子ちゃんは涙が止まりませんでした。部屋に戻っても悔しさ、悲しさ、辛さ、様々な感情が入り混じり、泣いても泣いても涙が止まりませんでした。どのくらい時間が経過したでしょう。A子ちゃんは、25メートル歩く決心をして、その報告にお母さんの部屋の前まで行きました。

その時です。部屋の中からお母さんのうめくような声が聞こえてきたのです。A子ちゃんは恐る恐るふすまを少し開けました。そこには、お母さんが仏壇の前で髪を振り乱しながらお祈りしている姿があったのです。「お願いです。A子を強い子にして下さい。なんとか25メートルを泳がせてやって下さい。どうか助けて下さい。」

いよいよ水泳大会の日がやってきました。A子ちゃんはアンカーです。A子ちゃんがタッチを受けたときチームはトップを争っていました。しかし、だれもがA子ちゃんが泳げないことを知っています。クラスのいじめっ子は言いました。「せっかく、ここまでトップじゃったのにアンカーがA子じゃあもう駄目じゃあ。」A子ちゃんはプールに滑り降りて、少しずつ少しずつ歩き出しました。クラスメートからはビリになる事への罵声。そして他の生徒からも奇声や笑い声がA子ちゃんに向けられました。A子ちゃんがプールの中ほどまで歩いたときです。一人の男の人が服を着たままプールの中に入ってA子ちゃんと一緒に歩き始めたのです。その男の人はこの高校の校長先生でした。「何分かかってもええ。先生と一緒に歩けば、最後まで歩くんさい。何も恥ずかしゅうない。自分ひとりの力で歩くんぞ。」

罵声や笑い声はいつの間にか声援や拍手に変わっていました。長い時間を掛けて、A子ちゃんが25メートルを歩き終わったとき、友達はもちろん、あのいじめっ子まで涙を流していたのです。「A子、ようやったー。」『頑張ったのー、A子』『A子ちゃんすごーい。』歓声はいつまでもプールサイドに響いていました。

如何でしたでしょうか、私達の仕事はこのエピソードに登場する母親役であり、高校の校長先生役であり、声援を送る同級生役でなければならぬと思います。利用者の為を想い行動する組織へと成れるよう努力してまいります。平成25年度も変わらぬご支援、ご協力をお願い致します。

特集

植物工場

見学に行って…

現在、ピクシーフォレスト苑庭にキューブ型の建物があります。この建物は、無農薬で安心安全な野菜が栽培できる、植物工場ユニットです。中ではサンチュや水菜、サニーレタスなどの葉物野菜を栽培中です。この植物工場ユニットには、今年の夏に、奈良にある大和ハウスに見学に行き、そこで初めて出会いました。初めて見た感想は「ただのプレハブみたいだけど、本当にこの建物で野菜が栽培できるのかな」と疑問に思いました。しかし、中に入ってみるとそんな不安も吹き飛びました。中には、水耕栽培用の棚が並び、その中でリーフレタスがしっかりと育っていました。また、当日は気温、湿度ともに高く過ごしにくい天候でしたが、中は冷房が効きとても過ごしやすく、24時間365日、常に一定の温

度で管理され、野菜が育ちやすい環境となっていました。このことにより、植物工場ユニット内での水耕栽培は、露地栽培と違い、気温の変化が無いこと、虫や鳥などに食べられてしまう心配が無いこと、水が循環している為連作による育成被害等が無く、常に一定の収穫を得ることが出来る様になっていました。短時間の見学でしたが、利用者との作業を色々想像し楽しみが広がる時間となりました。現在は、始めたばかりで色々試行錯誤を繰り返してはいますが、安心・安全・無農薬の美味しい野菜をたくさん栽培したいと取り組んでいます。皆様も機会があれば是非ご賞味下さい。

(石井 浩太郎)

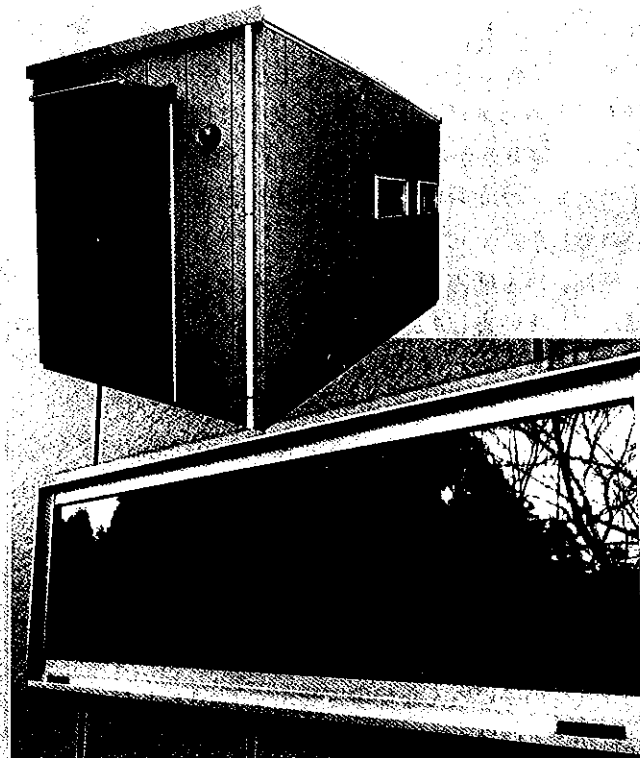
植物工場 概要

植物工場設置の経緯としては、利用者の日中活動の充実と共に就労の観点から植物工場の安定した生産性に着目し、利用者の工賃に繋げたいという想いで実施に至りました。

当法人では大和ハウス工場のユニット型の植物工場を採用しています。

昨年の10月に地盤調査から基礎工事までを行い平成24年11月16日に植物工場ユニットの設置が完了しました。ユニット内での栽培により害虫や天候に左右される事なく安定した栽培が可能で土壌を使用せずに養液栽培にて無農薬の安心安全な野菜を栽培しています。

(内田 修)



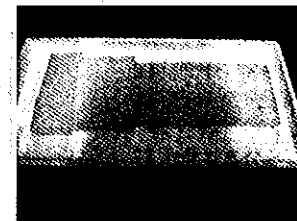
植物工場の取り組みを始めて

室温の調整、水と日中の外の光、夜は蛍光灯で光を当てるだけ。最初は本当にこれで野菜が育つのか、不安ながらも始めた植物工場ももうすぐ2ヶ月が経ちます。種を植えてからも半信半疑で野菜の様子を見に行っていました。

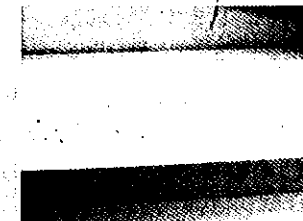
しかし、3・4日すると芽が出て、すくすくと育つ野菜に私達の期待も大きく膨らみました。1ヶ月程経つと野菜は収穫時になります。平成25年1月28日には、初めて育てたサンチュを収穫し、試食を行いました。東日本大震災から、放射能の問題で野菜の安全性が問われ、また出荷率が下がったことで葉物野菜は現在も高値で売られています。

しかし、私達の植物工場では工場内で野菜が作られ、虫を寄せ付けないという利点や、水と光のみで栽培が行われているため無農薬で作られているという安心・安全の野菜を提供する事が出来ます。今後の植物工場の取り組みに大きな期待を寄せながら、現在は都内に1ヶ所納品しています。「お客様からは、シャキシャキしていて美味しいという声が多いですよ」とお店の方からお話を頂き、多くの皆様に早く美味しい野菜をお届けできるよう利用者、職員で力を合わせて頑張っていますので楽しみにしていただければと思います。

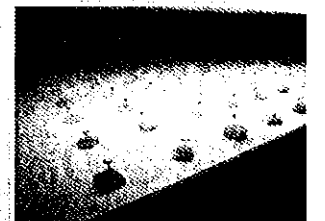
(田中 雄己)



〈種付け〉



〈3日で発芽〉



〈5日で定植〉



〈25日目〉



〈30日目収穫時期〉



〈収穫〉

永幸苑 新規利用者紹介



清野 貞子
(きよの さだこ)

2月1日に入所しました清野貞子と申します。永幸苑ではカラオケクラブやホーム喫茶など行事に参加して楽しく生活しています。お話をすることがとても好きなので、これからもっと色々な方とお話をして楽しく生活していきたいと思っています。よろしくお祈りします。



大司 泰信
(たいし やすのぶ)

皆様初めまして、大司泰信と申します。以前ピクシーフォレストで短期入所利用していましたが、9月から永幸苑に入所しました。日中は余暇活動に参加しています。また、カラオケが好きでカラオケクラブを楽しみにしています。お話をすることが好きなので、皆さんと声をかけてください。宜しくお願いします。



重松 貴美子
(しげまつ きみこ)

皆様初めまして、10月に新しく入所した重松貴美子と申します。入所して4ヶ月が経ちますが、少しずつ永幸苑での生活に慣れてきました。人見知りでなかなか他の利用者さんと話す機会が少ないですが、これから活動等に参加し、交流を深めていきたいと思ひます。よろしくお祈りします。

ピクシーフォレスト 新人職員紹介



生活支援相談員
山本小百合

ピクシーフォレストに入職して、半年が過ぎようとしています。まだまだ、利用者の方と上手く触れ合う事ができず戸惑いの毎日ですが、いろいろな発見の毎日でもあります。利用者の方と一緒にいると個性の大切さを感じます。これからも利用者の方々に負けないくらい頑張りたいです。

防災倉庫等の設置について

総務部長 松岡伸泰

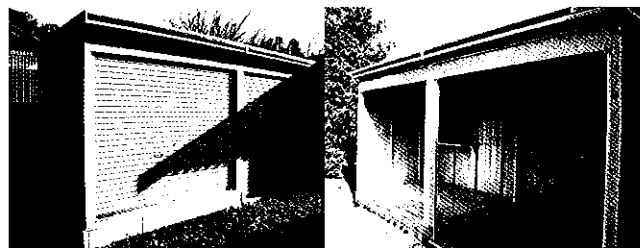
この度、「障害者のための災害時防災拠点整備事業」において国、県からの補助金を頂き、防災倉庫の設置及び非常用テントの購入をいたしました。

この事業は、災害時に地域の障害者が円滑に避難し、適切な支援が受けられるよう福祉避難所の拡充や備品の

整備を目的としたものです。

翠昂会としては、現在四街道市の福祉避難所としての役割を担うべく、四街道市と防災無線の設置等協議しているところではありますが、将来的に福祉避難所となったときに非常食や備品等が地域の方にも利用できるように準備が終っております。

「常に備えあれ」を念頭に、障害者支援施設を活用した広域的な支援の中で障害者の方が災害時でも安心して生活できるよう今後も体制作りをすすめて参ります。



還暦を迎えて

永幸苑
小島里子



今から遡ること7年前「里子さん、点字習ってみませんか？」と職員さんの声掛けで私の人生が大きく変わったと言っても過言ではありません。忘れもしない真夏日でした。利き手が使えなくなってしまい、まだ動かせる左手で何か役に立つ事がしたいと思っていました。ちょうどその頃、ボランティアとして来苑されていた方が点字の先生であることを知り、その方との出会いが点字を始めるきっかけとなりました。点字を習い始めてからは、夕食後の1時間半(覚えるには一番良い時間帯でした)ほど練習しました。正直、学生時代は勉強が苦手でしたが、点字に関しては死に物狂いで覚えました。還暦を迎え現在は職員の名刺、施設の封筒への点字、予定献立表の点字を行っています。一人息子が私の点字をしている姿を見て、「母さんのポケ防止薬だよ」と笑いながら一番喜んでくれています。点字を教えて下さった先生に感謝すると共に、充実した時間が送れることや人の為になることに喜びを感じている毎日です。

永幸苑
石井幸子



平成22年の1月に最愛の主人を病気で亡くし、体の不自由な私は家の中で一人になってしまいました。子供達3人が心配しその年の3月、縁あって永幸苑に入所させて頂き、月日の経つのは早いもので3年が過ぎました。今年還暦を迎え随分と歳を取りましたが、永幸苑での生活のお陰で怪我1つせず楽しく暮らしています。子供達も土曜日には苑に顔を出してくれます。孫も苑に来るのが楽しみらしく、賑やかな時間を過ごしています。永幸苑では毎日、自由に自分のやりたいことを行わせてもらっています。委託受注班という活動班でのお仕事もさせて頂いており、楽しい仲間にも恵まれています。毎日の生活でも親切な職員さんと知り合えて、本当に私は幸せ者だと感謝しております。

成人式を迎えて

一つの門出を迎えて

永幸苑
京増優実



平成25年1月に無事、成人式を迎えることができました。当日は天候に恵まれ、晴れ晴れとした青空の下、成人式に出席する事が出来ました。利用者の方を始め、職員の皆様より温かいお言葉を掛けて頂き感謝が一杯です。時に、大人への第一歩を踏み出したことに不安を感じることもありますが、社会の一員として翠昂会の職員であることを誇りに日々成長していきたいと思ひます。未熟者ではありますが、今後も私なりに精一杯、努力をして参ります。何卒宜しくお願い致します。

成人を迎えて

永幸苑
竹越文香



成人式を迎えるまでとても長く感じておりましたが、やっと成人式を迎えることができ喜びでいっぱいです。高校を卒業し翠昂会に就職してから学ぶ事も多く私自身、少しずつ大人へと成長してきていると日々感じています。多くの利用者や職員の皆様に見守られ、祝福されてとても嬉しく胸が一杯になりました。私自身、未熟者ですが翠昂会の一職員として少しずつ成長していきたいと思ひます。今後も宜しくお願い致します。

成人を迎えて

ピクシーフォレスト
大木彩加



翠昂会に入職してから2年が経ち、人生の大きな節目でもある成人式を迎えました。成人式当日は天候にも恵まれ、利用者の方や職員に沢山の温かい言葉を頂きとても嬉しく思ひます。まだまだ未熟者ですが、大人として、社会人として、翠昂会の職員としての自覚を持ち、日々成長できるように精進していきます。今後とも宜しくお願い致します。

ゼロワンプロレス

平成24年11月11日(日)に千葉中央公園でZERO1プロレス(大谷晋二郎選手が率いるプロレス団体)が開催されました。(株)アイケイホームズ今野社長よりご招待頂き、永幸苑、ピクシーフォレスト、ピクシープレイスの利用者、職員が観戦させて頂きました。

永幸苑



利用者の古里さんも杉森さんも選手達の迫力と気合いに圧倒され目が点になってしまいましたが、途中から声を出したり手を挙げながら大谷選手の応援をされていました。プロレスの試合が終わった後、大谷選手の挨拶の中で、「辛いことや逃げたいことがあると思うが、勇気を出して打ち破ること、失敗しても諦めず何回も挑戦し続けることが大切である」とおっしゃっていました。倒されても立ち上がる選手達の姿は、負けない心を持つことの大切さを教えてくれました。また、迫力ある選手達の姿からは勇気ももらいました。

利用者、職員共に貴重な楽しい時間を過ごすことが出来有り難うございました。機会があればまたぜひ、観戦したいです。
(鈴木 康司)

ピクシーフォレスト



大谷選手が最初の挨拶で「本当に強い者は、いじめをしない」という言葉とともに、技を掛けられても立ち上がるその諦めない姿がとても印象的でした。怖がる利用者もいましたが、最後は楽しんでいました。迫力に圧倒されながらも利用者と共に楽しませて頂きました。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

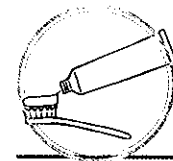
(磯崎 圭太)

ピクシープレイス



プロレス観戦が初めての利用者には少々刺激が強いのではないかと考えていましたが、始めは怖くて目を開けられなかった利用者が観戦するうちに白熱した試合にいつしか引き込まれ、気が付くと選手の行動に一喜一憂し興奮して思わず立ち上がったり、熱い声援を選手に送っていました。何度でも立ち上がる選手の姿には全員が元氣と勇気ももらいました。終わる頃にはすっかりプロレスファンになって、グッズを購入し、楽しい時間を過ごす事が出来ました。選手の方からサインを頂いたノートは宝物だと喜ぶ利用者の姿が印象的でした。来年も活躍している選手の姿を全員で応援しに行きたいと、帰りの話題は持ちきりでした。

(西尾 友)



歯科講習会 (ピクシーフォレスト)

平成25年2月7日さくら歯科医院の櫻井院長、歯科衛生士4名の方に来苑して頂き歯科講習会を行いました。

毎年、この時期に利用者の皆さんへ歯磨きの方法や、染め出し液を使用し磨き残し等の確認をして頂いています。

赤い染め出し液の為、利用者の皆さんは口を真っ赤にしていました。

一旦うがいをし磨き残しを確認すると、残念ながら赤く染まったままの箇所があちらこちらに残っている状況でした。普段皆さんの磨き直しをしている私は、深く反省する所が多くありました。歯磨きの方法については、鉛筆を握る様に歯ブラシを持つことや、奥歯や歯の裏側の磨き方、さら

に歯を磨く時の力の入れ具合など詳しく説明して頂きとても勉強になり、今後の支援に活かしたいと思います。

以前、私がモデルとなって歯を磨いて頂いたのですが、自身で磨く時とは全く違う爽快感があり歯磨きがこんなにも気持ち良いことだったのかと思いました。

私も教えて頂いた歯磨きの方法、力の入れ具合、歯ブラシを当てる箇所を一つひとつ勉強し利用者の皆さんに歯磨きが気持ち良いこととして感じて頂ける様に努力していきたいです。

(小林 聡)



寿 司 の 日

11月6日(火)

12時より各階食堂にて

「築地日本海」さんが
来苑されます。

「おかり
自由です!!」



平成24年11月8日に「法人寿司の日」を開催しました。毎年、寿司の日は利用者の方がとても楽しみにしている行事の1つです。今年は「築地日本海千葉駅前店」の方にお越し頂きました。

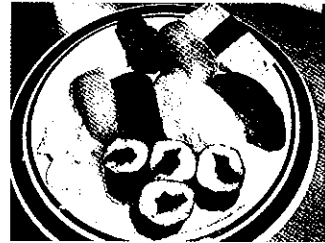
お店の雰囲気を感じて頂けるよう、2階食堂に



カウンター席を作り施設内の装飾にも工夫をしました。あっといいう間に、美味しそうなマグロ

やサーモンのにぎり寿司と鉄火巻きが出来上がり、職人さんがお寿司を握っている姿に利用者、職員共に感動しました。寿司職人の握る姿に多くの方がカウンター席で見学し、楽しむことが出来ました。

「サーモンおいしいね!」「ネギトロおかわりください!」など各テーブルから多くの声が飛び交い、お寿司を笑顔で召し上がっていらっしゃいました。また、普段介助をしないと食事が動まない方がご自身でお寿司を持って召し上がっていたり、食の細かい方が「おいしい!」と言いながらお寿司を完食されている姿がとても印象的でした。



ピクシーフォレストでは、豊富なネタがたっぷりのった豪華な海鮮ちらしを作って頂きました。普段の食事とは違う雰囲気も多く利用の方が喜んで召し上がっていらっしゃいました。今年は永幸苑、ピクシーフォレスト共に利用者の笑顔が沢山あふれる寿司の日となりました。これも築地日本海千葉駅前店の内田純雄部長はじめ、今福陽一様、内田信雄様にご協力頂いたおかげです。本当にありがとうございました。

(東郷 祐子)



音楽療法の取り組みについて

永幸苑では、月に2回のペースで音楽療法の講師の八角先生をお招きし音楽療法を実施しております。10名ほどのメンバーで童謡を合唱したり、タンバリンや太鼓等の様々な楽器を取り入れた合奏を楽しんでおります。普段は大勢で歌ったり、合奏する機会が少ないので、皆さんが一丸となり大いに楽しまれております。また音楽を聴いて、普段は滅多に声を出されない方が嬉しそうに声を出したり、大きな声で歌ったりと、普段は見られないような笑顔が伺えます。その時の季節に合わせた楽曲もメニューに取り入れ、そこから広がる会話も皆さんで楽しまれております。実際に参加されている利用者の方々からは、次の様な声が上がっています。

「みんなで歌うことや、太鼓をリズムに合わせて叩いて合奏するのが楽しいです」「音楽療法の初めに、一人ずつ歌いながら楽器を使って挨拶するのがいつも楽しみです。いつも違う楽器なので、毎回今度はどんな楽器が来るのか、とても楽しみにしています」「普段は歌う機会が無かったけれど、音楽療法に参加し始



めてからは利用者の皆さんや、先生や職員の皆さんに「歌が上手ですね」と褒められるようになりました。これからも大好きな歌を歌っていきたいと思います」「太鼓を叩くのが上手と皆さんに褒められるのが嬉しいです。これからも太鼓をたたく曲を増やして欲しいです」最近では参加メンバーを増やし、より多くの利用者の皆様に音楽療法を楽しんで頂いております。今後も利用者の皆様の可能性を引き出せるように、様々な楽曲の提供や普段は出来ないような楽器の演奏の場を設けていける音楽療法を作っていきたいと思っております。(石原 愛美)



「みんなで歌うことや、太鼓をリズムに合わせて叩いて合奏するのが楽しいです」「音楽療法の初めに、一人ずつ歌いながら楽器を使って挨拶するのがいつも楽しみです。いつも違う楽器なので、毎回今度はどんな楽器が来るのか、とても楽しみにしています」「普段は歌う機会が無かったけれど、音楽療法に参加し始



千葉ロータリークラブ 移動例会

平成25年1月28日(月)にピクシーフォレストにて千葉ロータリークラブ 職業奉仕委員会が担当された職場訪問例会が開催されました。

今回の訪問例会では当法人の取り組みについて説明と見学をして頂きました。

見学では当法人の職員より最近、報道などでも話題の植物工場とAEDの実演など多数説明させて頂きま

した。合わせて日頃からお世話になっている業者の方にもご協力を頂き千葉測器様には重要書類の出張裁断車の実演と説明、(株)有備様には職員トイレに設置している防災トイレについてご説明を頂きました。

見学会終了後には当法人の活動班で作成した商品を沢山、ご購入頂き利用者の方も喜ばれていました。当日は雪の影響もあり足元の悪い中でののご案内といくつかの不便がありました。担当させて頂き準備段階から沢山の事を学ぶ機会となりました。また、日頃から色々な方の支えがあって仕事に取り組んでいる事を感じる事が出来ました。(山崎 龍也)

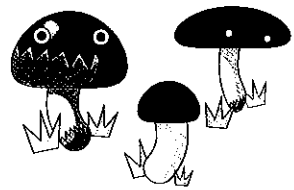
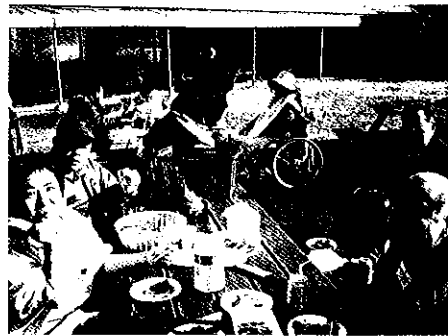
生活介護「通所」の広場

平成24年11月14日(水)

通所利用者の外出はいつも天候に恵まれます。この日は14名の利用者と職員6名で佐倉きのこ園にてきのこ狩り・バーベキューを楽しんで来ました。「きのこ狩りってどうやるの?」利用者の質問に上手く答えられないまま現地に到着。きのこ園の方に説明を受けながらハウスに入りました。想像していた以上に大きく肉厚な椎茸に驚き…採れたての新鮮な椎茸をバーベキューで食べて美味しさに驚き…と、利用者も職員も大満足でした。

たくさんの椎茸をお土産に持ち帰り、思い出深い外出となりました。これからも利用者のリクエストに応え、外出を計画していきたいです。

(小倉 未佳)



成人おめでとう!

今年、成人式を迎えられた尾崎美香さん、藤波杏梨沙さんのアイドル激戦区の中、EST48(永幸苑・生活介護・通所)のセンターの地位を確立しました。これからは、永幸苑・翠晶会のアイドルをめざし、元気に休まず通います。創作活動や余暇支援で、皆さんと一緒に楽しい時間を過ごしたいと思います。(牛塚 美苗)



ケアホーム ピクシープレイス

平成25年度のテーマ



ピクシープレイス施設長
松岡 伸泰

平成25年度ピクシープレイスの目標・テーマは『健康』です。

ピクシープレイスも6回目の春を迎え今までに利用者の入れ替わりもありましたが、それぞれに年を重ね、また、もともとの持病を抱えている方、中にはすでに70歳を越える利用者もいらっしゃいます。私自身も今まで特に大きな病気もなく健康に過ごしてきましたが、やはり体力面でも動きが鈍くなった事を感じ、最近では食事や運動にも気を使うようになり、やはり健康が一番であると最近強く感じています。

国の豊かさを、よく国民総生産(GDP)という数値で表します。日本は中国に抜かれたものの世界3位です。ブータンという国はGDPでは166位ながら、

自国が提唱した国民総幸福感(GNH)では、8位にランクインしています。決して豊かな国ではありませんが、インタビューを受けていたブータンの人は「なぜ幸せに思うか?」との質問に「家族みんなが健康でいられるから幸せ」「みんなで助け合っているから」等、物ではなく心の豊かさによる幸福を感じているようでした。ちなみにGNHの1位はデンマーク、日本は125位です。

人それぞれ幸福と感じるところは違うと思いますが、ピクシープレイスに当てはめると利用者同士や職員との人間関係、健康、近所(地域)や日中生活介護事業所である永幸苑、利用者の就労先との密接な関係の構築など、もっと絆やつながりの強さがあることで幸福を感じていただけたのではないかと思います。

そんな中、今年度は健康のテーマのもと、食事や運動面、生活習慣など健康に気を配り、感染症を予防して利用者、職員共々健康で過ごせる1年にしたいと思います。

調理実調の風景

ピクシープレイスでの調理実習を紹介します。ピクシープレイスでは毎週日曜日の夕食は利用者が参加する調理実習を行っています。利用者が中心となって献立を考え、必要なものを近隣のスーパーで買い出しをし、調理を行っています。メニューの話し合いは1階食堂で行われ、「先週は揚げ物だったから違う方がいいよ」「お肉があるなら、おかずは野菜を多く入れた方がいいんじゃないかな」「デザートは何の果物にしようか」等、活発な意見が飛び交っています。とある夕食、本日のメニューはハンバーグ。「私はお肉を捏ねるね」「僕は玉葱の皮を剥くよ」「僕は食器を準備しようかな」「私は材料を炒めたり焼いたりするのは得意なの。ハンバーグを焼く時は教えてね」とそれぞれで役割分担し、調理に取りかかります。調理方法や味付けなどで、職員がアドバイスをする事はありますが、利用者同士で協力しながら調理を行っており、職員は

利用者が励んでいる姿を見守っています。自分達で考え、調理した料理は格別の味です。食事の時には、「大変だったけど、頑張った!」「良く焼けていて美味しいよ」互いに褒め合い、認め合う場面があり食卓には笑顔が溢れています。

(込山 拓也)



レーベンス・フォル・ベーカリー



レーベンス・フォル・ベーカリーはケアホームピクシープレイスの一階部分に店舗を構えています。温かみと優しさを感じさせる外装、店内には製菓班の焼き立てのパン、焼菓子をはじめ、手工芸班のかわいく手作りされたはがきやコースター、また千葉県産の新鮮な野菜を取り扱っています。無添加、ふわふわの天然酵母パンが自慢です。また飲食コーナーをご用意し、地域の方々の交流の場にもなっています。

七夕やハロウィン、クリスマス、バレンタイン等季節に応じたイベントを開催し、地域の方々にもご好評頂いています。また、当店にはポイントカードがありますが、昨年よりWAON（ワオン）カードを導入し、よりスムーズな会計でWAONポイントもたまって大変お得です。ぜひ、ご来店をお待ちしています。

(込山 拓也)

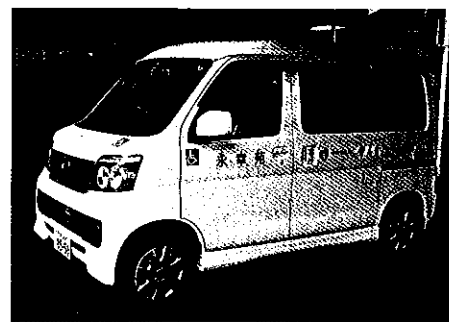
住所：〒260-0841
千葉市中央区白旗2丁目18-7-2
TEL:043-268-3805



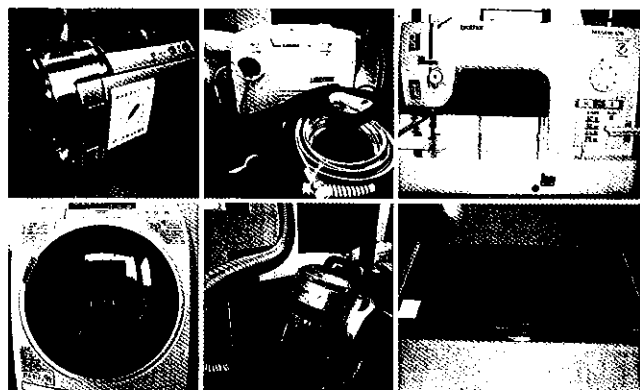
ご注文を承っていますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

ありがとうございました

○ダイハツ千葉販売株式会社様より
ダイハツ労働連合40周年記念としてダイハツ千葉販売(株)様よりリフト付き車輛(アトレー)のご寄付頂きました。外出や通院等で使用させていただきます。



○歳末たすけあい募金
永幸苑にNHK歳末たすけあい募金の配分として、洗濯機とミシンをご寄付いただきました。ピクシープレイスでは、掃除機、ビデオカメラ、高圧洗浄機、DVDレコーダーをご寄付いただきました。ご協力を賜りました関係各位に対し、謹んで感謝の意を表します。



○クリスマスケーキ

12月に永幸苑とピクシーフォレストにてクリスマス会が行われました。永幸苑家族とピクシーフォレスト利用者を支援する会よりケーキ代をご負担頂き有り難うございました。利用者、職員共に美味しく頂きました。



利用者エピソード

永幸苑

時見輝彦



入所して5年が経ちます。入所当時は胃瘻(いろう)からの経管栄養で食事をしていたのですが、一

昨年より口から食事を召し上がる機会を頂きました。ペースト状にした食事から始めていきましたが最初は咽(む)せる事もありました。食事の様子を細かく看護師や栄養士、援助士が確認しながら試行錯誤の上、

現在は細かく刻んだ食事が摂れるようになりました。また、食事の変化だけではなく時見さん自身にも大きく変化が出てきました。食事を通して沢山職員が話しかけることにより時見さんの表情に笑顔が多く見られ明るくなりました。また、発語があまりありませんでしたが、声を出すことや自分の意思を伝えることも少しではありますが出来るようになってきています。

ご本人からは、近い将来みんなと同じ食事が摂れるようになることと、以前より好きだったマクドナルドでハンバーガーを食べることが夢です。担当としてはご本人の夢を叶えられるよう今後も取り組んでいきます。

(今関克仁)

ピクシーフォレスト

家老 悠



平成24年11月7日に、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で、第39回手をつなぐスポーツの

つどいが開催されました。今回初めてスポーツのつどいへ参加される家老悠さん。会場へ入るのもドキドキ緊張されている様子が見ていて感じられました。たく

さんの人がいる中、お弁当を届けることを伝えると、台車を押してみんなが待っている場所へと運ぶことができました。お弁当は恥ずかしさからか、みんなと少し離れたところで食べました。青空の下、おいしそうに食べていました。

競技中は、待機場所から参加されている利用者へ熱い声援を送り、とても楽しそうに参加されていました。

最後に、みんなの食べ終わったお弁当箱を車に乗せて笑顔で帰りました。

(藤田美弥)

ピクシープレイス

三十尾 時夫



三十尾さんは、他利用者の事をいつも気にかけて、さりげなく手を差し伸べてくれるとても優しい方です。

日中は、月曜日から金曜日まで外部での就労を頑張っているらしいです。いつまでも健康で仕事を続けていきたいとお話されている通り、毎日「いってきます。」と明るくケアホームを出て行かれる姿には頼もしさも

感じます。先日のバレンタインデーの日には、就労先でチョコレートをいただいてきました。ケアホームに帰ってきて一番に報告してくださり、とても嬉しそうな表情でした。施設を離れた場所で外部の方々との関係を一から作り上げ、ご自身で良い関係を築かれている事が感じられた場面でした。これからは就労できるようにケアホームでも支援をしていきたいと思えます。これからも外部との良い関係を保ちながら、ご本人が望む就労が出来るようにケアホームでも支援していきます。

(西尾 友)

翠昂会 写真館



大きなしゃぼん玉できたよ!!



みんなで「すき焼き」



クリスマスケーキ
おいしかったです!



県身協職員ポーリング大会にて 施設賞：優勝 女子の部（個人）：優勝



フライングディスク大会、
頑張りました!



白組がんばりました!



上野神社へ初詣!

第16回パーティーコンサート



楽しく♪発表できました



交流会でのゲーム中